

- 冊ノ四)・(第五類)私立中学校ニ関スル書類・一・自一至二三」
 〈第三課〉東京都公文書館所蔵。『立教学院百二十五年史』資料編
 第一巻、七八〜七九頁所収)。
- (25) 「彙報 学事 私立立教尋常中学校設立」『官報』第四四八一号、
 一八九八年六月九日、三頁。『立教学院百二十五年史』資料編第
 一巻、七九頁所収)。
- (256) Foreign Missions: Japan: Arthur Lloyd, Report on St. Paul's College,
 Tokyo, Japan, SM, October 1898, pp. 490-491.
- (257) T. S. Tyng, "The New Japanese Prayer Book, and the New Building for
 St. Paul's College, SM, April 1896, p. 177.
- (258) 前掲「立教学院歴史」(『立教学院百二十五年史』資料編第一巻、
 三八頁所収)。「私立学校設立願ニ対スル指令案」左乙女豊秋、一
 八九七年八月一七日。「私立東京英語専修学校設立願」左乙女豊
 秋、一八九七年八月一七日(「第一種 第三課文書類別」[明治三
 十年]・学務(共六二冊ノ内九)・各種学校ニ関スル書類・二冊之
 一 自一至二三)〈第三課〉東京都公文書館所蔵。『立教学院百二
 十五年史』資料編第一巻、八四〜八五頁所収)。
- (259) 前掲「立教学院歴史」(『立教学院百二十五年史』資料編第一巻、
 三八頁)による。テイニングは一八九七年一〇月二三日に「辞
 職」とある。なお、『スピリット・オブ・ミッションズ』誌一八九
 八年二月号 (Foreign Missions: Announcements, SM, February 1898,
 p. 74) は、*his* 休暇帰米中のテイニングを「副総理」と記して
 いる。当該箇所原文出处は以下の通り。The Rev. Arthur Lloyd has
 been made president of St. Paul's College, Tokyo, vice the Rev. T. S. Tyng
 on extended leave of absence.
- (260) アーサー・ロイドは、英国教会系ミッションの福音宣教協会
 [Society for the Propagation of the Gospel] の遣日宣教師として一
 八八四(明治一七)年に来日し、一〇年後の九四(明治二七)年
 から一九〇三(明治三六)年までの九年間はアメリカ聖公会宣教
 師となった。
- (261) John McKim to Joshua Kimber, 17 December 1897, JR, Box 13,
 AEC. 大江満「立教学院初代アーサー・ロイド―教育と伝道と異
 端嫌疑―」(『立教学院史研究』第四号、二〇〇六年)三二頁。
- (262) THE CHURCH IN JAPAN, December, 1897, vol. III, No. 12, p. 149.
- (263) SM, February 1898, p. 74.

(注 第三章)

- (1) Arthur Lloyd, "St. Paul's College, Tokyo", 27 January 1898, JR, Box
 13, AEC.
- (2) John McKim to Joshua Kimber, 4 February 1898, JR, Box 13, AEC.
 一八九八年四月号の『スピリット・オブ・ミッションズ』誌は、
 れを報じている。The Spirit of Missions, April 1898, p. 175. 以下 SM
 と略記。ただ、同月号の別の箇所 (p. 151) では、この目的で学
 内で暮らす外国人は三人必要であるとロイドが強調していること
 に言及している。
- (3) Arthur Lloyd, "St. Paul's College, Tokyo", 27 January 1898, JR, Box
 13, AEC.
- (4) *Ibid.*
- (5) Arthur Lloyd, "Report on St. Paul's College, Tokyo for the Quarter
 Ending March 31" 1898", JR, Box 9, AEC.

- (6) *Ibid.*
- (7) Arthur Lloyd to Joshua Kimber, 30 December 1897, JR., Box 9, AEC.
- (8) 立教学院百二十五年史編纂委員会編『立教学院百二十五年史』(資料編第三卷、立教学院、一九九九年、二一―三頁。
- (9) 一八九八年二月にキリスト教綱領を削除した同志社綱領削除問題に対して、同志社を後援するアメリカン・ボード宣教師たちは、同志社開校以来のアメリカン・ボードによるミッション注入資金の返還を求める国際訴訟問題に発展しかねないほど激しく批判し、駐日アメリカ公使 A・E・バック (Alfred E. Buck) や元駐日アメリカ総領事 N・W・マッキューヴァー (Nicolas W. McIvor)、『首相大隈重信や伊藤博文など、アメリカ政府と明治政府首脳を巻き込む外交問題にまで発展した。結局これはその後、同志社日本人理事の退任とキリスト教綱領を復活させることで事態の収拾が図られたが、このとき同志社では徴兵猶予という尋常中学校の特権も失わなかったため、文部省サイドでは同志社への不満がくすぶっていたとも推量される。本井康博『京都のキリスト教 同志社教会の19世紀』(日本キリスト教団同志社教会、一九九八年)三二―三三七頁。
- (10) Arthur Lloyd, "Report on St. Paul's College, Tokyo for the Quarter Ending March 31", 1898*.
- (11) *Ibid.* この一八九八年三月の季刊報告書を掲載した『スピリット・オブ・ミッションズ』誌一八九八年六月号は、授業時間内においても立教がキリスト教教育の完全な自由を得るためのロイドの「闘志」に関する部分削除してある。SM, June 1898, pp. 276-277.
- (12) Arthur Lloyd, "Report on St. Paul's College, Tokyo for the Quarter Ending March 31", 1898*. Arthur Lloyd to Joshua Kimber, 20 October 1898, RG:71, JR., Box 9, AEC.
- (13) Arthur Lloyd, "Report on St. Paul's College, Tokyo, Japan, for the Quarter ending June 30, 1898", JR., Box 9, AEC.
- (14) Arthur Lloyd to Joshua Kimber, 20 October 1898.
- (15) Arthur Lloyd, "Report on St. Paul's College, Tokyo, Japan, for the Quarter ending June 30, 1898*."
- (16) Arthur Lloyd to Joshua Kimber, 20 October 1898.
- (17) 「校名変更出願」小林彦五郎、一八九九年三月二十七日(「第一種」第三課文書〔明治三十二年〕、学務・私立中学校・第一巻)〔第三課(官房) 東京都公文書館所蔵。立教学院百二十五年史編纂委員会編『立教学院百二十五年史』(資料編第一巻、立教学院、一九九六年、七九―八〇頁所収)。
- (18) Arthur Lloyd to Joshua Kimber, 1 May 1899, JR., Box 39, AEC.
- (19) 佐伯友弘「明治三十二年における条約改正論議と第一次宗教法案―『明教新誌』に見るその教育史的意義について―」(『日本仏教教育学研究』第九号、二〇〇一年)四一―四二頁。
- (20) 『能仁新報』一八九九年一月三〇日及び、同書一八九九年四月一日(前掲『京都のキリスト教 同志社教会の19世紀』三二―三頁)。
- (21) 久木幸男「訓令12号の思想と現実(一)」(『横浜国立大学教育紀要』第一三号、一九七三年、八―一〇頁)。
- (22) Arthur Lloyd to Joshua Kimber, 20 October 1898.
- (23) 前掲「訓令12号の思想と現実(一)」一―一四頁。

- (24) 中島耕二『近代日本の外交と宣教師』（吉川弘文館、二〇二二年）一六〇～一六一頁。
- (25) A. Lloyd to Kimber, 1 May 1899, JR, Box 9, AEC, SM, July 1899, pp. 357-358.
- (26) *THE CHURCH IN JAPAN*, vol. V No. 6, June 1899, pp. 90-96.
- (27) *Proceedings of the Board of Managers of the Domestic and Foreign Missionary Society of the Protestant Episcopal Church in the USA*, 13 June 1899, Book 75, AEC.
- (28) A. Lloyd to Kimber, 1 May 1899, SM, July 1899, pp. 357-358.
- (29) 前掲「訓令12号の思想と現実（1）」六、一九～二二頁、「官報」（第四八二七号、一八九九年八月三日）三三～三四、四八頁。
- (30) 前掲『近代日本の外交と宣教師』一六二頁。
- (31) 前掲『官報』（第四八二七号）四九頁。
- (32) 前掲『近代日本の外交と宣教師』一六二～一六四頁。
- (33) 同右書、一六三～一六四頁。
- (34) P・F・ボラー著・北垣宗治訳『アメリカン・ボードと同志社——一八七五～一九〇〇——』（新教出版社、二〇〇七年）二二七～二一八頁。
- (35) 前掲『近代日本の外交と宣教師』一六七頁。
- (36) 金井信一郎編『明治学院百年史』（学校法人明治学院、一九七七年）二〇一～二〇三頁。
- (37) 前掲『近代日本の外交と宣教師』一六八頁。
- (38) この一か月後の一八九九年一〇月二日に、文部省は普通・専門学務局共同通牒を発し、訓令の解釈や運用を柔軟に対処するよう訓令の「実質的修正」を各府県に伝達した。久木幸男「訓令12号の思想と現実（2）」『横浜国立大学教育紀要』第一四号、一九七四年）四三～四五頁。
- (39) 前掲『近代日本の外交と宣教師』一六八頁。
- (40) 青山学院編『青山学院九十年史』（青山学院、一九六五年）二九〇頁。
- (41) 前掲『近代日本の外交と宣教師』一六五頁。
- (42) 前掲『青山学院九十年史』二九〇～二九二頁。
- (43) 前掲『アメリカン・ボードと同志社』二一八頁。
- (44) 上野直蔵『同志社百年史』（通史編第 1 巻、学校法人同志社、一九七九年）四五九～四六一頁。
- (45) John McKim, Report for 1898-99, JR, Box 42, AEC.
- (46) 前掲『近代日本の外交と宣教師』一六九頁。
- (47) John McKim, Report for 1898-99.
- (48) Arthur Lloyd, Joseph S. Moroda, Charles H. Evans, "Report of Visitor to the Tokyo City Office", 19 August 1899, JR, Box 39, AEC. ロイヤルの筆跡による英文陳情書の写し。
- (49) *Ibid.* ロイヤルの筆跡による英文陳情書の写し。
- (50) *THE CHURCH IN JAPAN*, vol. V No.10, October, 1899, p.149.
- (51) "Rev. Dr. Moroda's Report", attached to Arthur Lloyd, 8 July 1900, "Report of St. Paul's College, Tokyo Japan. for the Academic Year of 1900", JR, Box 39, AEC.
- (52) Arthur Lloyd, 8 July 1900, "Report of St. Paul's College, Tokyo Japan. for the Academic Year of 1900".
- (53) 井深樞之助とその時代刊行委員会編『井深樞之助とその時代』（第二巻、明治学院、一九七〇年）四六五頁。

- (54) J. McKim to Kimber, 1 September 1899, JR., Box 42, AEC.
- (55) *Proceedings of the Board of Managers of the Domestic and Foreign Missionary Society of the Protestant Episcopal Church in the USA*, 10 October 1899, Book 76, AEC.
- (56) A. Lloyd to Kimber, 24 September 1899, JR., Box 39, AEC.
- (57) *Proceedings of the Board of Managers of the Domestic and Foreign Missionary Society of the Protestant Episcopal Church in the USA*, 14 November 1899, Book 76, AEC.
- (58) 「校名改称認可願〔立教中学校〕」(〈第一種〉 第三課文書〔明治三十二年〕・学務・私立中学校・第二卷)〈第三課(官房)〉東京都公文書館所蔵。『立教学院百二十五年史』資料編第一卷、八〇～八一頁所収。文部省告示第四百四十八号「私立立教学院立教中学校改称の件認可」(『官報』第四百九〇七号、一八九九年一月八日、九〇頁。『立教学院百二十五年史』資料編第一卷、八一頁所収)。
- (59) J. McKim to Kimber, 6 November 1899, JR., Box 42, AEC.
- (60) *Proceedings of the Board of Managers of the Domestic and Foreign Missionary Society of the Protestant Episcopal Church in the USA*, 12 December 1899, Book 76, AEC.
- (61) McKim to Kimber, 28 December 1899, JR., Box 42, AEC.
- (62) William Awdry to McKim, 6 January 1900 (copy); Armine F. King to McKim, 9 January 1900 (copy); Alexander Croft Shaw to McKim, 12 January 1900 (copy), RG, 71, Box 42, AEC.
- (63) SM, December 1899, pp. 607-611.
- (64) 前掲『近代日本の外交と宣教師』一六九～一七四頁。
- (65) 前掲「訓令12号の思想と現実(2)」四三～四五頁。
- (66) 前掲『近代日本の外交と宣教師』一七四～一七九頁。
- (67) 同右。
- (68) 元田作之進「立教学院歴史」(『立教学院百二十五年史』資料編第一卷、四二頁所収)。
- (69) 前掲『近代日本の外交と宣教師』一八一頁。
- (70) 前掲『同志社百年史』通史編第一卷、四五九頁。
- (71) 前掲『青山学院九十年史』二九一～二九三頁。
- (72) 「公立学校認定ニ関スル規則」一八九九年六月二八日制定。教育史編纂会編『明治以降教育制度発達史』(第四卷、教育資料調査会、一九八三年)七七四～七七八頁。久木幸男「訓令12号の思想と現実(3)」(『横浜国立大学教育紀要』第一六号、一九七六年)八八～九〇頁。
- (73) 前掲『近代日本の外交と宣教師』一八一頁。
- (74) 高瀬幸恵「基督教教育同盟会にみるキリスト教学校と国家政策——一九三〇年代を中心に——」(第三〇回日本教育史研究会サマーセミナー、二〇一一年八月二二日、高瀬報告)一～四頁。高瀬幸恵「報告の概要と課題 第三〇回日本教育史研究会サマーセミナーを終えて」(『日本教育史往来』第一九四号、日本教育史研究会、二〇一一年一月三十一日)四～五頁。
- (75) 高瀬幸恵「一九三〇年代における基督教教育同盟会のキリスト教教育方針の策定—国家の道德規範とキリスト教教育の關係に注目して—」(『キリスト教教育論集』第一九号、二〇一一年)。
- (76) 中島耕二「改革・長老教会」キリスト教史学会編『宣教師と日本人—明治キリスト教史における受容と変容—』教文館、二〇一

二年) 一七二頁。

- (77) A. Lloyd, 8 July 1900, "Report of St. Paul's College for the Academic Year of 1900".
- (78) A. Lloyd to Kimber, 20 October 1898, A. Lloyd to Kimber, 1 May 1899, JR, Box 9, AEC.
- (79) A. Lloyd to Kimber, 30 December 1899, JR, Box 39, AEC.
- (80) *THE CHURCH IN JAPAN*, vol. VI No. 8, August, 1900, p. 128.
- (81) *RE-THINKING MISSIONS A LATAMEN'S INQUIRY AFTER ONE HUNDRED YEARS*, The Commission of Appraisal, William Ernest Hocking Chairman, Harper & Brothers, 1932, pp. ix-xv 3-4, 18-28, 33-36.
- (82) *Ibid.*, pp. 162-163. 大江滿「戦時下外国ミッションの危機—立教首脳の動揺と米国聖公会の決断—」(老川慶喜・前田一男編著『ミッション・スクールと戦争—立教学院のナイレナー—』東信堂、二〇〇八年) 三七—四四頁。
- (83) A. Lloyd, 8 July 1900, "Report of St. Paul's College for the Academic Year of 1900".
- (84) A. Lloyd to Kimber, 20 October 1898, A. Lloyd to Kimber, 1 May 1899.
- (85) 元田作之進『日本聖公会史』(普光社、一九一〇年) 一八二頁。
- (86) 桃山学院百年史編纂委員会編『桃山学院百年史』(桃山学院、一九八七年) 一二六—一二三頁。
- (87) アメリカ聖公会系の立教女学校は、一八九九年一〇月四日付で「私立女学校認可願」を東京府に提出して認可された(立教女学院編『立教女学院百年小史』立教女学院、一九七七年、八三頁)。
- CMS系女学校のブル女学校も、同年一〇月九日付で私立学校令にもとづく女学校「設立許可願」を提出し、一〇月三〇日付で認可された(資料室委員会・記念誌編集委員会編『写真でみるブル学院の二一〇年』学校法人ブル学院、一九九〇年、三二頁)。
- (88) SPC系女学校の松陰女学校の場合は、一八九九年一二月一六日に各種学校として認可されている(松陰女子学院校史編纂委員会編『松陰女子学院百年史』松陰女子学院、一九九二年、三六頁)。
- (89) 前掲「訓令12号の思想と現実(2)」四—四五頁。
- (90) *THE CHURCH IN JAPAN*, vol. VI No. 1, January, 1900, pp. 8-12.
- (91) J. McKim to Kimber, 14 November, 1899, RG:71, Box 42, AEC.
- (92) *SM*, February 1900, pp. 101-102.
- (93) *THE CHURCH IN JAPAN*, vol. VI No. 1, January, 1900, pp. 8-12.
- (94) *THE CHURCH IN JAPAN*, vol. VI No. 11, November, 1900, pp. 162-163.
- (95) *SM*, March 1900, pp. 159-160.
- (96) 「立教尋常中学校の認可と校内宗教的生命」(『築地の園』第二号、一八九八年四月二七日) 一一—三頁。
- (97) 「園の昨今」(『築地の園』第二二号、一八九九年四月二七日) 一四頁。
- (98) 「園の昨今」(『築地の園』第一五号、一八九九年一月八日) 一九—二〇頁。
- (99) 「私立中学校寄宿舎不設置認可書交付ノ件」(前掲(第一種)第三課文書(明治三十二年)・学務・私立中学校・第二卷)。

- (10) 「私立教學院立教專修學校設立ノ件」(第一種) 第三課文書〔明治三十三年〕・学務・各種學校・第四卷〕(第二課〔官房〕) 東京都公文書館所蔵。『立教學院百二十五年史』資料編第一卷「八三〜八四頁所収」。
- (11) 「学則変更認可願」一九〇四年三月五日(第一種) 文書類纂〔明治三十七年〕・学事・第七類・私立各種學校・第一卷〕(第三課) 東京都公文書館所蔵。『立教學院百二十五年史』資料編第三卷「二四〜二六頁所収」。
- (12) T. S. T'yang, "St. Paul's College, Tokyo", *THE CHURCH IN JAPAN*, vol. IV No. 1, January, 1898, pp. 5-12.
- (13) A. Lloyd, "Report on St. Paul's College, Tokyo, Japan, for the Quarter ending June 30, 1898".
- (14) A. Lloyd to Kimber, 1 May 1899, *SM*, July 1899, pp. 357-358.
- (15) *THE CHURCH IN JAPAN*, vol. VI No. 9-10, September to October, 1900, pp. 143-145.
- (16) *THE CHURCH IN JAPAN*, vol. VI No. 11, November, 1900, pp. 162-163.
- (17) A. Lloyd, 28 June 1901, "Report of Work Done by St. Paul's College, Tokyo, during the Academic Year 1900-01", JR., Box 39, AEC.
- (18) A. Lloyd, "Report on St. Paul's College, Tokyo, Japan, for the Quarter ending June 30, 1898".
- (19) A. Lloyd, 8 July 1900, "Report of the St. Paul's College, for the Year of 1900".
- (20) A. Lloyd to Kimber, 29 August 1900, 7 September 1900, JR., Box 39, AEC.
- (21) *SM*, October 1900, p. 631.
- (22) Arthur Lloyd to Arthur Selden Lloyd (Secretary of the Board of Managers), 10 September 1903, JR., Box 39, AEC.
- (23) A. Lloyd, 21 May 1902, "Report on St. Paul's College, May 1902", JR., Box 39, AEC.
- (24) John McKim, Annual Report for 1903, JR., Box 44, AEC.
- (25) *Ibid.*
- (26) John McKim to John Wilson Wood, 18 January 1904, JR., Box 44, AEC.
- (27) T. S. T'yang, "St. Paul's College, Tokyo", *THE CHURCH IN JAPAN*, vol. IV No. 1, January, 1898, pp. 5-12.
- (28) A. Lloyd, "Report on St. Paul's College, Tokyo, Japan, for the Quarter ending June 30, 1898".
- (29) A. Lloyd, 13 March 1900, "Report on St. Paul's", JR., Box 39, AEC.
- (30) A. Lloyd, 8 July 1900, "Report of the St. Paul's College, for the Year of 1900".
- (31) 聖路加國際病院一〇〇年史編纂委員会編『聖路加國際病院一〇〇年史』(聖路加國際病院二二〇〇一十一年) 六七〜七十一頁。
- (32) A. Lloyd, 13 March 1900, "Report on St. Paul's", JR., Box 39, AEC. "Educational Work in Tokyo" by A. Lloyd, *SM*, May 1900, pp. 291-292.
- (33) *Ibid.*
- (34) 前掲「立教學院歴史」(『立教學院百二十五年史』資料編第一卷「四二頁所収」)。
- (35) A. Lloyd to Kimber, 19 March 1900, JR., Box 39, AEC.
- (36) A. Lloyd to Kimber, 29 August 1900, *SM*, October 1900, p. 631.

- (127) *THE CHURCH IN JAPAN*, vol. VI No. 9-10, September-October, 1900, p. 144.
- (128) *SM*, October 1900, pp. 651-652.
- (129) 前掲「立教学院歴史」(『立教学院百二十五年史』資料編第一卷、四三頁所収)。
- (130) A. Lloyd to Kimber, 16 November 1900, JR, Box 39, AEC.
- (131) *Ibid.*
- (132) A. Lloyd to Kimber, 11 March 1901; PS, 12 March 1901, JR, Box 39, AEC.
- (133) *Proceedings of the Board of Managers*, 11 June 1901, Book 77, AEC.
- (134) A. Lloyd to Arthur S. Lloyd (Secretary of the Board of Managers), 3 November 1902, JR, Box 39, AEC.
- (135) T. S. Tyng, "St. Paul's College, Tokyo", *THE CHURCH IN JAPAN*, vol. IV No. 1, January, 1898, pp. 5-12.
- (136) 久保田富次郎「立教大学小史 未定稿」一九二八年(『立教学院百二十五年史』資料編第一卷、五五頁所収)。
- (137) A. Lloyd, "Report on St. Paul's College, Tokyo, Japan, for the Quarter ending June 30, 1898".
- (138) A. Lloyd to Kimber, 1 May 1899, Box 39, AEC; *SM*, July 1899, pp. 357-358.
- (139) *SM*, March 1900, pp. 159-160.
- (140) A. Lloyd, 13 March 1900, "Report on St. Paul's".
- (141) A. Lloyd to Kimber, 19 March 1900.
- (142) A. Lloyd, 8 July 1900, "Report of the St. Paul's College, for the Year of 1900".
- (143) A. Lloyd to Kimber, 19 November 1900; 21 December 1900, JR, Box 39, AEC.
- (144) A. Lloyd to Kimber, 21 December 1900.
- (145) 前掲「立教学院歴史」(『立教学院百二十五年史』資料編第一卷、四三頁所収)。
- (146) A. Lloyd, 13 March 1900, "Report on St. Paul's".
- (147) *Ibid.*
- (148) A. Lloyd, 28 June 1900[1901], "Report of Work Done by St. Paul's College, Tokyo, during the Academic Year 1900-01, JR, Box 39, AEC.
- (149) A. Lloyd to Kimber, 5 March 1901, JR, Box 39, AEC.
- (150) A. Lloyd to Kimber, 26 March 1901, JR, Box 39, AEC.
- (151) A. Lloyd to Kimber, 6 May 1901, JR, Box 39, AEC.
- (152) A. Lloyd, 28 June 1901, "Report of Work Done by St. Paul's College, Tokyo, during the Academic Year 1900-01.
- (153) A. Lloyd, 4 August 1902, "Report on St. Paul's College, Tokyo, May 1902, JR, Box 39, AEC.
- (154) *Ibid.*
- (155) 「教報 立教学院卒業式」(『基督教通報』第七卷第七号、一九〇三年四月一七号) 一一頁。
- (156) John McKim, "Annual Report of the Bishop of the Missionary District of Tokyo", *Annual Report of the Board of Missions of the Protestant Episcopal Church of the USA, 1902-03*, p. 228.
- (157) A. Lloyd to Kimber, 11 March 1901; PS, 12 March, 1901, JR, Box 39, AEC.

- (158) 渡辺利夫編『拓殖大学百年史』(明治編、拓殖大学創立百年史編纂専門委員会、二〇一〇年)八八頁。拓殖大学創立百年史編纂専門委員会編『拓殖大学百年史』(通史編一 明治大正期、拓殖大学創立百年史編纂専門委員会、二〇一六年)三〇九―三二〇、三四九頁。
- (159) A. Lloyd to Arthur S. Lloyd (Secretary of the Board of Managers), 3 November 1902.
- (160) A. Lloyd, 10 September 1902, *Proceedings of the Board of Managers of the PECUSA*, 14 October 1902, Book 79, AEC.
- (161) J. McKim to A. S. Lloyd (Secretary), 27 November 1902, JR., Box 43, AEC.
- (162) J. McKim to A. S. Lloyd (Secretary), 18 April 1903, Private, JR., Box 43, AEC.
- (163) Cablegram, 15 April 1903, Tokyo to New York, "Lloyd resigned McKim", JR., Box 43, AEC.
- (164) J. McKim to A. S. Lloyd (Secretary), 18 April 1903, JR., Box 43, AEC.
- (165) 「教報 立教学院新任総理披露会」(『基督教週報』第七卷第九号、一九〇三年五月一日)一〇頁。
- (166) 「私立立教尋常中学校設置願」小林彦五郎、一八九八年一月二五日(第一種 第三課文書類別〔明治三十一年〕・学務〔共四四冊ノ四〕・(第五類)私立中学校二関スル書類・一・自一至三)〔第三課〕東京都公文書館所蔵。『立教学院百二十五年史』資料編第一巻、七八―七九頁所収)。小林彦五郎は一八六七年に岡山で生まれ、大阪の英和学舎で学び、一八七九年立教学校を卒業した。その後渡米し、エビスコバル神学校で神学を修め、哲学、宗教学を研究し、一八九五年に帰国。東京築地の東京聖三一教会の牧会を助けた。また、一八九五年八月から一八九九年九月まで立教中学校に教授したとする履歴書が残っている(履歴書)。「第二種文書類纂(明治三十五年)・学事・第一五類・私立各種学校職員・第一巻」(第三課)東京都公文書館所蔵。一八九六年マキムから司祭按手を受け、青森聖アンデレ教会牧師として伝道。一九〇二年七月立教女学校校長に就任し、同校が高等女学校と組織改編後も引き続き校長として一九四二年まで在任した(日本キリスト教歴史大事典編集委員会編『日本キリスト教歴史人名事典』教文館、二〇一〇年、三〇九―三二〇頁)。
- (167) 元田作之進『明治三十四年三月調 立教学院歴史』(立教学院史資料センター所蔵)一七頁、久保田富次郎「立教大学小史稿案參考乙号 揺籃時代 左乙女時代」(立教学院史資料センター所蔵)。
- (168) 「中学校設置認可追願」一八九八年三月二二日(前掲「第一種 第三課文書類別〔明治三十一年〕・学務〔共四四冊ノ四〕・(第五類)私立中学校二関スル書類・一・自一至三」)。
- (169) 「私立中学校設置者身上調ノ件二関シ岡山県へ電報案」一八九八年三月二八日(前掲「第一種 第三課文書類別〔明治三十一年〕・学務〔共四四冊ノ四〕・(第五類)私立中学校二関スル書類・一・自一至三」)。
- (170) 前掲「私立立教尋常中学校設置願」、「尋常中学位設置認可申請」一八九六年二月八日(青山学院「五〇年史編纂本部」編纂委員会・青山学院資料センター「一五〇年史編纂室編『青山学院一五〇年史』資料編1、学校法人青山学院、二〇一九年、一三一―一三六頁)「私立明治学院尋常中学位規則」(東京都公文書館編『都

市紀要二三 東京の中等教育二 東京都情報連絡室情報公開部
 民情報課、一九七四年）五一～六五頁。

(171) 前掲「私立立教尋常中学校設置願」。

(172) 前掲「尋常中学位設置認可申請」一三四頁。

(173) 前掲「私立明治学院尋常中学位規則」五二頁。

(174) 前掲「私立立教尋常中学校設置願」。

(175) 同志社では紀元節、天長節に祝賀式の挙行の記載があった

〔同志社尋常中学校規則、同志社高等普通学校規則〕同志社百年
 史」資料編二、同志社、一九七九年、一五一～一八頁。

(176) 「園の昨今」〔築地の園〕第一六号、一八九九年二月、一八
 頁。

(177) 「園の昨今」〔築地の園〕（第四七号、一九〇三年二月）一四
 一五頁。

(178) 「園の昨今」〔築地の園〕第九〇号、一九〇七年一月）一九頁。

(179) 「園の昨今」〔築地の園〕（第六一号、一九〇四年四月）一五
 一六頁。

(180) ちなみに、一九〇二年一月二日に死去したヴィクトリア女王
 の日本での葬儀式は二月二日、築地の三一一大聖堂で行なわれた。
 「午前十一時より三一大会堂に英国女皇ビクトリア陛下の遙葬式
 有之候。これ英国教会に未だ大会堂あらざりし為に候当日は殊に
 天皇陛下御名代として小松宮彰仁親王殿下、皇后陛下御名代とし
 ては同妃頼子殿下御臨場あらせられ且つ内外の貴顕大会堂に立錫
 の地をなからしめしに候へば近衛騎兵又は馬車等にて道路も亦雑
 沓を極め候式は最も壯嚴に行はれ祈禱書 埋葬式に女皇の為の特
 別祈禱を加へられ候尤も初めより終りまですべて英語にて行はれ

候」〔園の昨今〕〔築地の園〕第二九号、一九〇二年二月、二二
 頁。

(181) 前掲「私立立教尋常中学校設置願」。

(182) 油井原均「旧制立教中学校の在籍生徒数・入学者状況／半途退
 学者数・教員数」〔立教学院史研究〕第八号、二〇一一年。

(183) 文部省令第三四号「官公私立学校認定二関スル規則」〔官報〕
 一八九九年六月二八日）六頁。

(184) 「文部省令ニヨリ認定願進達」〔（第一種）文書類纂（明治三十
 三年）・第三課文書・学事・第五類・私立中学校・第一卷〕（第三
 課）東京都公文書館所蔵。

(185) 同右。

(186) 前掲『明治三十四年三月調 立教学院歴史』二七頁。

(187) 前掲「文部省令ニヨリ認定願進達」。

(188) 同右。

(189) 「文部省通牒達示」〔（第一種）文書類纂（明治三十四年）・学
 事・第五類・私立中学校・第一卷〕（第三課）東京都公文書館所
 蔵。

(190) 同右。

(191) 同右。

(192) 前掲『明治三十四年三月調 立教学院歴史』二八頁。

(193) 「特別試験入学認可願」〔尋常中学校卒業者兵学校及機関学校入
 学特別試験に関する件及公私立学校学科程度等認定に関する件
 (五)〕JACAR(アジア歴史資料センター) RefC060912611007「明
 治三三年 公文備考 教育五演習一巻六」防衛省防衛研究所
 蔵。

- (194) 「立教中学校視察調査復命」(尋常中学校卒業生兵学校及機関学校入学特別試験に関する件及公私立学校学科程度等認定に関する件(六)) JACAR (アジア歴史資料センター) Ref:C06091261200
「明治三十三年 公文備考 教育五演習一巻六」防衛省防衛研究所所蔵。
- (195) 「認定案」(前掲「尋常中学校卒業生兵学校及機関学校入学特別試験に関する件及公私立学校学科程度等認定に関する件(五)」。試験に関する件)
- (196) 『立教学院一覽』(立教学院史資料センター所蔵) 一―二頁。ここで一九〇二年発行と推定したのは、文武会役員、校友会役員、教員、組長などが一九〇一―一九〇二年とされており、立教中学校生徒数、英語専修学校卒業生が一九〇一年度まで記載されているためである。
- (197) 同右、二―三頁。
- (198) 同右、三頁。
- (199) 同右、六頁。
- (200) 「三十二年度以降各学年度末在籍生徒数」『立教学院学報』第一号、一九〇七年二月二〇頁。
- (201) 前掲「旧制立教中学校の在籍生徒数・入学者状況／半途退学者数・教員数」。
- (202) 「私立立教学院立教中学校生徒定員変更認可願」(「公文 大正十一年 学事」第一種私立学校 冊の60」東京都公文書館所蔵)。
- (203) 「園の昨今」(『築地の園』第四九号、一九〇三年四月) 一五頁。
- (204) 「園の昨今」(『築地の園』第九五号、一九〇七年六月) 一五―一六頁。
- (205) 明治期に設置された補習科については、受験教育準備機関としての機能のほか、徴兵忌避のために進学した者の存在も指摘されている。明治後期の補習科については、下記の論文を参照された。 (吉野剛弘「明治後期における旧制中学校補習科関連法令の変遷とその影響」(慶応義塾大学大学院社会学研究科紀要』第七六号、二〇一三年) 春日裕「中等教育の拡張と変容―戦前の「補習科」の歴史と機能―」(『東京大学大学院教育学研究科教育行政学研究室紀要』第一九号、二〇〇〇年)。
- (206) 「御署名原本・明治三十二年・勅令第二十八号・中学校令改正」(JACAR (アジア歴史資料センター) Ref:A03020383300、「御署名原本・明治三十二年・勅令第二十八号・中学校令改正」国立公文書館所蔵)。
- (207) 「私立中学校規則変更認可書交付按」(第一種) 文書類纂(明治三十三年)・第三課文書・学事・第七類・私立各種学校・第三卷(「第三課」東京都公文書館所蔵)。
- (208) 前掲「学則変更認可願」一九〇四年三月五日。
- (209) 前掲「私立立教学院立教専修学校設立ノ件」。
- (210) 前掲「学則変更認可願」。
- (211) 「沿革概略」(『私立立教学院立教大学要覧』一九一七年三月、立教学院史資料センター所蔵) 一一頁。
- (212) 「The Progress of the Kingdom: St Paul's College, Tokyo: Its Growth and Needs, SMJ, June 1904, p.391. 立教学院史資料センター編 『THE SPIRIT OF MISSIONS 立教関係記事集成(抄訳付)』(第三卷) 立教学院、二〇一一年) 五頁。
- (213) 前掲「沿革概略」一一頁。
- (214) 「三 寄宿舎」(『立教学院学報』第四号、一九〇九年) 一八頁。

- (215) 「学則改正箇条並二理由」〔第一種 文書類纂（明治四十二年）・学事・第七類・私立学校・第五卷）（内務部学務課）東京都公文書館所蔵〕。
- (216) 文部省編『日本帝国文部省年報』の各年度から採録した。
- (217) 「統計報告」〔前掲『立教学院学報』第一卷〕二二頁。
- (218) 「私立立教学院立教中学校生徒員数調（三十三年五月一日現在）」〔第一種 文書類纂（明治三十三年）・第三課文書・学事・第一六類・学事統計・第一卷）（第三課）東京都公文書館所蔵〕。
- (219) 「立教中学校現在生徒府県別員表」〔立教学院学報』第二号、一九〇八年四月）一八～一九頁。
- (220) 前掲「統計報告」二〇～二二頁。
- (221) 文中の入学者数、卒業者数、半途退学者数などは前掲「旧制立教中学校の在籍生徒数・入学者状況／半途退学者数・教員数」に依拠した。
- (222) 前掲「学則改正箇条並二理由」。
- (223) 「余録 先輩訪問録」〔菅岡吉編『立教学院設立沿革誌』立教学院八十年史編纂委員、一九五四年）一八～一九頁。
- (224) 一九〇五年は中途退学理由の死亡者が七七名と記載されているが、これは誤記であると考えられる（前掲「旧制立教中学校の在籍生徒数・入学者状況／半途退学者数・教員数」）。
- (225) 立教中学校一〇〇年史編纂委員会編『立教中学校一〇〇年史』（立教中学校、一九九八年）八四～八五頁。
- (226) 『立教学院学報』第二号では「政経」と記載している。
- (227) 「立教学院学報第二号附録」〔前掲『立教学院学報』第二号）附録頁一五～一七頁。
- (228) 「私立立教学院立教大学設立認可願」〔第一種 文書類纂（明治四十年）・学事・第七類・私立学校・第三卷）（第二部学務課・内務部学務課）東京都公文書館所蔵〕。
- (229) 前掲『立教学院学報』第二号、一七～一八頁。
- (230) Foreign Missions; Bishop McKim's Annual Report. [John McKim, Bishop of Tokyo.] SM, October 1896, p.482. 立教学院史資料センター編『THE SPIRIT OF MISSIONS 立教関係記事集成（抄訳付）』（第二卷、立教学院、二〇一〇年）二九二頁。
- (231) 若月麻須美「三、三十七年前の回顧（前島潔『立教学院宗教運動の過去及現在』聖公会出版社、一九三三年、一一頁。『立教学院百二十五年史』資料編第一卷、五四五頁所収）。
- (232) 「嗚呼水野武三郎君「園のほまれ」（『築地の園』第五号、一九〇八年九月、一～八頁）。水野武三郎は一八九八年七月二日に二二歳で逝去した。
- (233) 前掲「三、三十七年前の回顧」一一頁（『立教学院百二十五年史』資料編第一卷、五四五頁所収）。
- (234) 稲垣陽一郎「二、立教学院ミッションの創立せられし頃」（前掲『立教学院宗教運動の過去及現在』一〇五頁。『立教学院百二十五年史』資料編第一卷、五四三頁所収）。
- (235) 前掲「三、三十七年前の回顧」一一頁（『立教学院百二十五年史』資料編第一卷、五四五頁所収）。
- (236) 鈴木範久「立教Yの誕生（「交わり・伝道・ボランティア」立教青年」創立一一五周年特別号）立教大学キリスト教青年会、二〇〇六年）。

- (237) 中村敏『日本キリスト教宣教師―ザビエル以前から今日まで』(いのちのことは社、二〇〇九年)二〇六―二〇八頁。「合同基督教大学設立計画之次第概要」(青山学院資料センター所蔵。前掲『青山学院一五〇年史』資料編Ⅰ、二六五―二七四頁所収)。大西晴樹『キリスト教学校教育史話―宣教師の種蒔きから成長した教育共同体』(教文館、二〇一五年)二二四―二二六頁。
- (238) 前掲「三、三十七年前の回顧」一二二頁(『立教学院百二十五年史』資料編第一巻、五四五頁所収)。
- (239) 前掲『立教学院宗教運動の過去及現在』三九頁。
- (240) 前掲「二、立教学院ミッシヨンの創立せられし頃」一〇四―一〇六頁(『立教学院百二十五年史』資料編第一巻、五四三頁所収)。
- (241) 小島茂雄「四、幻滅なき時代を追想して」一七頁(前掲『立教学院宗教運動の過去及現在』。『立教学院百二十五年史』資料編第一巻、五四七頁所収)。
- (242) Foreign Missions: Japan; Portions of Report on St. Paul's College for the Quarter Ending, March 31st 1898 [Arthur Lloyd] SM, June 1898, p.276. (前掲『THE SPIRIT OF MISSIONS 立教関係記事集成』(抄訳付)第一巻、三二八頁)。
- (243) 海老沢有道編『立教学院百年史』(立教学院、一九七四年)二〇六―二〇七頁。雑誌『八紘』は一八九七年三月、第二号にて終刊した(前掲『立教学院百年史』二一五頁)。
- (244) 同右、二六七頁。
- (245) 「園の昨今」(『築地の園』第二号、一八九八年四月)七―八頁。
- (246) 「園の昨今」(『築地の園』第八号、一八九八年二月)一〇―一頁。
- (247) 「園の昨今」(『築地の園』第二号、一八九九年二月)一〇頁。
- (248) 「園の昨今」(『築地の園』第十九号、一九〇〇年一月)一七頁。
- (249) 前掲『立教学院百年史』二六五―二六六頁。
- (250) 前掲『立教学院一覽』。
- (251) 「園の昨今」(『築地の園』第三号、一九〇〇年五月)一九頁。
- (252) 「園の昨今」(『築地の園』第二六号、一九〇〇年一月)一九頁。
- (253) 「園の昨今」(『築地の園』第五〇号、一九〇三年五月)一―二頁。
- (254) 元田作之進「故チング氏と予の關係」(『基督教週報』五六卷八号、一九二八年)五頁。
- (255) Japan: From Letters of the Rev. T. S. Tring, Osaka, May 27th, SM, October 1884, p.478. (立教学院史資料センター編『THE SPIRIT OF MISSIONS 立教関係記事資料集成』(抄訳付)第一巻、立教学院 二〇〇九年、四二六頁所収)。
- (256) 奈良常五郎『日本YMCA史』(日本YMCA同盟、一九五九年)一五〇頁。
- (257) 岡田哲蔵『本多庸一伝』(日独書院、一九三五年)二二五―二二八頁。
- (258) 同右、三九八頁。
- (259) 元田作之進「過去の経験をたどりて」(『築地の園』二八四号、一九二六年五月)六頁。
- (260) 「牧師報告」(『築地の園』一号、一八九八年三月)三―五頁。
- (261) 「青年会」(『築地の園』四号、一八九八年六月)一―三頁。
- (262) 「個人」(前掲『築地の園』一号)九頁。
- (263) 「教界評論禁止」(『東京朝日新聞』一九〇〇年一月二六日)一面。

- (264) 稲垣陽一郎『ジョン・マキム』（日本聖公会北関東教区教育部、一九四九年）三七頁。
- (265) 同右。
- (266) 前掲「立教尋常中学校の認可と校内宗教的生命」一頁。
- (267) 同右、一頁。
- (268) 同右、一～二頁。
- (269) 同右、二頁。
- (270) 史料上では「北部地方会」とされているが、正式名称は「北東京地方部」である。「園の昨今」（前掲『築地の園』二号）一五頁。
- (271) St. Paul's College, Tokyo. By the Reverend Arthur Lloyd, President, SM, January 1901, p.25. (前掲『THE SPIRIT OF MISSIONS 立教関係記事集成（抄訳付）』第二巻、四四〇頁)。
- (272) 前掲『明治三十四年三月調 立教学院歴史』一八～二七頁。
- (273) 前掲『立教中学校一〇〇年史』六九頁。
- (274) 前掲「過去の経験をたどりて」七頁。
- (275) 「園の昨今」（『築地の園』一五号、一八九九年一月）一九～二〇頁。
- (276) 一九〇〇年二月三日に「立教学校々旗制定の式」が催され、元田校長以下教員、学生の前で、マキムから「此旗を校旗として授く」と言い渡され、学生代表が受け取り、元田校長は「国家に国旗あり軍隊に軍旗あり一校に亦校旗なかるべからず、国旗は国家の精神を示す軍隊は一軍の精神を示す校旗は亦一校の精神を示すものなり」という校旗演説を行なった。また、「園の昨今」を執筆した「築地の園人」は校旗について次のように記述している。「立教学院は嘗に日本聖公会教育の中心機関たるのみならず又将来宗教界の偉才此に待つべき事に候校旗既に成り最も望まじきは此赤紫の旗下に其色が示す『燃ゆる熱心』を以て校長の所謂『真理の為に殉死する』の大才偉器を六角塔下に出さん事に候。」「園の昨今」『築地の園』二七号、一九〇〇年二月、二三頁)。
- (277) 前掲『立教学院設立沿革誌』八一頁。
- (278) 「園の個人」（『築地の園』四八号、一九〇三年三月）一六頁。
- (279) 久保田富次郎「故鈴木教授と私及び立教学院」（鈴木一先生記念出版委員編『鈴木一先生日記及書翰』鈴木一先生記念出版委員、一九三二年）三二〇～三二二頁。
- (280) 同右、三三三～三三三頁。
- (281) 六角塔人「元田先生の横顔」（『いしずゑ別報』創刊号、立教中学校、一九三八年四月）二頁。本荘の希望で、名称は教務主任となったが、実質的には教頭であった（本荘掬水「元田良山先生に就いて」『立教学院学報』五卷二・三号、一九三八年三月、七頁)。
- (282) 前掲「元田良山先生に就いて」七頁。
- (283) 前掲『立教学院設立沿革誌』六七頁。
- (284) 前島潔「元田先生の追憶」（前掲『立教学院学報』五卷二・三号）二二頁。
- (285) 前掲「元田先生の横顔」二頁。
- (286) 「元田学長送別会」（『基督教週報』第四七卷第二五号、一九三三年二月七日）三頁。